

横尾議員 私から移住定住促進のための取り組みについてお伺いします。昨年の6月議会で「空き家バンク構想」について質問をいたしました。町長は空き家物件が少ないことや専従職員の不在によるものとの答弁でした。また、産業課長からは牟岐町にあった施策を検討中であり、移住者と自治会の仲介する民間団体に任せられる仕組みづくりが最善では、との答弁をいただきました。しかし、町の人口が4,300人台となっている中、重要な施策であり早急な取り組みが必要であると考えます。そこで、移住定住者の目標人数を決め、取り組み①として「移住定住相談体制の充実」取り組み②として「町外への情報発信」取り組み③として「田舎暮らし体験機会の創出」取り組み④として「移住者の受入体制づくり」以上を提案いたします。これは4年間で目標移住者数2,000人を達成した自治体の実際の取り組みです。先進地を参考に、牟岐町版として取り組んでいただきたいと思っております。また、集落支援員の空き家調査状況や成果はどうなっていますか。以上お答えください。つぎに観光施策の取り組みについてお伺いします。牟岐町はもともと漁業が中心となって栄えてきた町であり、そうした背景から観光面での取り組みは他町と比べると重要度が低いように思われてなりません。今後、海部病院高台移転や牟岐バイパス開通となると、一気に町中が疲弊していくのではないかと危惧します。そうならないためには、交流人口の増加を目指して取り組まなければなりません。目的をもって牟岐町にきてもらわなければなりません。そこで、観光施策の面で課題や問題点はどんなものがあげられるのか、集客可能性の高まりとして、これに関しては出羽島の重伝建保存地区選定が今後期待できます。また、体制整備の面ではどうなのか、町と民間との関りや取り組みについてはどうなのか等々、観光振興の在り方について町の見解をお伺いします。以上です。

枅富議長 福井町長。

福井町長 横尾議員のご質問にお答えします。まず、移住定住促進のための取り組みですが、牟岐町では、平成21年3月に移住交流支援センターを総務課内に立ち上げ、商工会と連携し、空き家・空き地の調査・紹介等を実施してまいりました。しかしながら、当初からあまり実績が上がらず推移してまいりました。現在は、河内活性化センターに看板を掛けていますが、ほとんど問い合わせもありません。一方、平成25年のアート展の開催以降、出羽島への移住は10人程あり、重伝建の選定などもあったことから、今後も継続して移住者があると思われまます。このようなことから、現在、空き家対策・移住施策について、総務課、産業課、建設課、教育委員会を中心に方針を検討しており、早急に結論を出し、体

制を整えたいと考えています。議員ご質問の移住定住者の目標数の設定ですが、28年3月に策定しました牟岐町総合戦略に、基本目標として「牟岐町への新しい人の流れをつくる」ことを掲げ、KPIとして移住の仲介者数、年5人としています。また、集落支援員については、空き家調査を改めてお願いし、所有者の聞き取りにより、最近で236件の空き家をピックアップしていただいています。うち、賃貸・売却の希望者は2件、検討中が10件にとどまっています。賃貸・売却の意思の無い物件52件を除き、ほかの物件について現在確認をしているところです。つぎに、牟岐町の観光施策についてですが、日本において人口減少が、また地域において過疎化が進む中、観光振興による交流人口の増加により、成長に必要な人口減を補おうという取組が進められています。インバウンドの取り込み、DMOの推進がその主要な施策です。これまで牟岐町は、漁業や林業、商工業により発展した町であり、観光振興にあまり力を入れてこなかったこともあり、その対応に遅れがあります。つまり、観光拠点整備の遅れ、商工業者と観光業との連携の不備、観光協会の組織が未成熟であることが課題だと思います。しかしながら、平成17年から『南阿波よくばり体験』として、体験型観光や体験教育を実施し、これまで右肩上がりを実績を伸ばしてきました。これは、徳島県南部の素晴らしい自然だけでなく人々の温かさが魅力となっていると思われ、民泊受入れ施設の数が増えれば、まだまだ需要があると認識しています。また、大島の千年サンゴや、重伝建の出羽島、さらには周辺の島々の4つの国の天然記念物等、牟岐町には、他に無い魅力が沢山あります。今後は、これらを如何に観光に役立てていくかが課題と思われれます。特に、今年2月23日に官報告示された出羽島の伝建地区は、いつお越しいただいてもある程度のおもてなしができる体制を、早期に整える必要があると思います。そのためにも、観光により利益を受ける方々が率先し、観光協会の充実や商工会との連携を図っていただけることを大いに期待しています。また、今議会にも付議していますように、モラスコむぎの指定管理も選定されました。これまではダイビング事業を中心に町の観光振興を図っていただきましたが、今後は、日和佐道の駅とも連携しながら、より一層の観光振興を図って頂きたいと思います。牟岐町役場としましては、これらの施設整備、あるいは組織づくりのため、できる限りのお手伝いをしたいと考えています。以上です。

杣富議長 横尾議員。

横尾議員 今、集落支援員の報告を受けました。236件の空き家があり、その内2件というふうな、もっともっと受け入れ、空き家を提供していただける

ような仕組みづくりが必要だと考えます。何かここで問題があって236件もある中で、提供できる空き家が2件しかないというのは、何か寂しいと思いますので、もっと仕組みづくりを考えていただいて、提供できる物件が増えていただき移住定住につながるような形、また、体験型の滞在施設として提供できるように持って行っていただきたいと思います。それから、観光施策を町長から聞いて、すごい前向きな意見が聞けたと、以前は千年サンゴが見られるようにというふうな質問をしたときには、保全活動のうえで見てくださいというふうな答弁だったのですが、今は観光協会にも少し力を入れて、そういうふうな整備をしていただけるということですので、これから期待を持って見ていきたいと思います。以上、私の答弁を終わります。